



秦野華道協会の役員ら

秦野華道協会は1946年頃、秦野市でいけばなを教える人々が、流派を越えて足並みを揃え、華道を盛り上げようとして創立。「秦野市文化振興大会」や「秦野市文化祭」だけでなく、「神奈川県華道展」や「武相華道展」に出品している。また、市文化祭の際には「いけばな体験会」を実施し、いけばなの普及活動

現在は休館中のクアーズテック秦野カルチャーホールでは開館時に会員が週替わりでロビーに作品を展示。作品のクオリティを保つため、頻繁に手入れを行うなど、精力的に活動している。華道には数多くの流派が存在しており、同協会には15流派が所属。流派の垣根を越えて会員は仲

日本の伝統文化の一つである「華道」。花の持つ生命力や個性に魅せられた人々が花と向き合い、数多くの作品が生み出されてきた。ここ秦野市でも、伝統を受け継ぐとともに、新たな「いけばな」を表現しようと秦野華道協会(小泉道生会長)が活動している。今年は23年ぶりに秦野が「第74回神奈川県華道展」の会場となり、県内から22団体が集結する。9月4日(水)の開会を前に、同協会の歴史や魅力を取材した。

流派越え花の魅力追求

歴史つなぐ秦野華道協会

動にも取り組んでいる。現在は休館中のクアーズテック秦野カルチャーホールでは開館時に会員が週替わりでロビーに作品を展示。作品のクオリティを保つため、頻繁に手入れを行うなど、精力的に活動している。華道には数多くの流派が存在しており、同協会には15流派が所属。流派の垣根を越えて会員は仲

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに

は持つて来いの土地です

ね」と語る。

小泉会長がいけばなを始めたきっかけは、「新生未生流」を教え、同協会の初代会長でもある父

が良く、「他の流派の作品も素敵。時には参考にすることもあります」と

いう。また、教室を開いて稽古を行う流派もあれ

ば、渋沢駅連絡所の一角

にいけばなを自発的に展

示している人も。中には

献花台を手がけたり、海

外で活躍している人もい

る。現在、会員の人数は

67人で、30代(90年代の会員)が所属している。

東京で花を生けている人からは「羨ましい」と

言われることもあるそ

う。小泉会長は「花材が

豊富という所は秦野の強

み。まさに、いけばなに